教育セミナー 1

心臓構造からみたヒス束ペーシング

ヒト心臓およびその周辺構造を剖検心で詳細にみていくと、日常臨床の場において気づいていない部分が多いことに驚く。また、ときとしてこれまでに報告されてこなかった新しい構造物に遭遇することもある。ヒス束およびその周辺構造も同様である。確立された当然のものとしてなにげなく取り扱ってきた構造も、再度詳細に調べてみると、その構造の中に新たな特殊領域があることに気づく。電気生理学的にも、さらなる検討が必要な部位であることが再認識される。近年、ヒス束（近傍）領域でのペーシングの有用性と安全性が議論されている。本セミナーでは、この領域の構造を基礎から確認し、臨床の場においてこの領域とどのように向かい合うべきかを検討したうえで、ヒス束ペーシングの展望について構造の立場から考えてみたい。